



ごとうの電気

powered by 五島市民電力



農地再生プロジェクト 2021年度実施報告書
五島市民電力株式会社

ごとうの電気 農地再生プロジェクト

- 実施期間：2021年4月～2022年3月
- 実施場所：五島市富江繁敷地区
- 実施内容：荒廃農地の整備、農作物の栽培、収穫

<プロジェクト概要>

五島市では人口減少に伴い、耕作放棄地など、かつては農地として活用されていた土地の荒廃化が進んでいます。とりわけ、山間地など、土地が狭く、かつアクセスが容易でない場所における農地の荒廃化は深刻です。

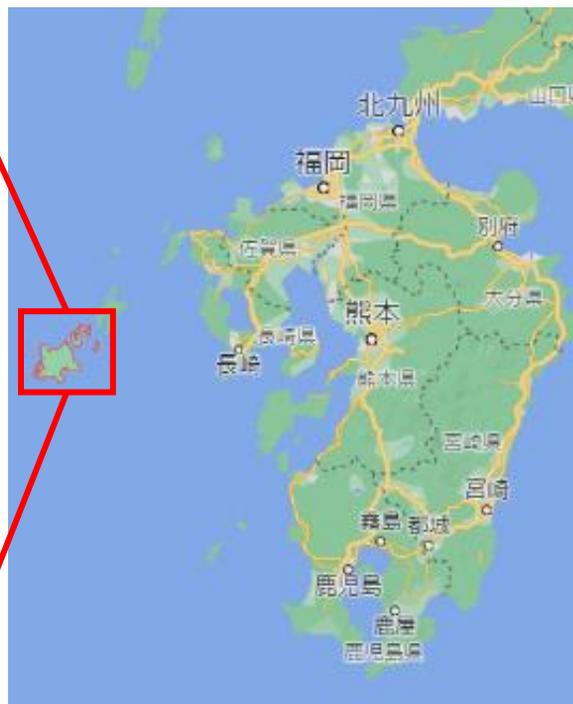
本プロジェクトは、そのような荒廃農地を増やさないよう耕作を維持すると共に、荒廃した農地を再生するプロジェクトです。収穫物の一部もごとうの電気利用者への還元などを行います。

<五島市富江町繁敷地区>

五島市富江町繁敷地区は、1853年に長崎県外海地区から移住した潜伏キリシタンが田畑を開拓したことにより始まる場所です。富江町と岐宿町の間で作られた集落は、昭和35年に人口のピークを迎えますが2015年に12世帯人口21名となりました。

また、過疎化の進行と共に、人々のよりどころである繁敷教会も100年の歴史を閉じることになりました。

<五島市福江島>



<旧繁敷教会>

令和3年3月31日閉堂

<主な活動内容>

- 2021年4月 荒廃地整備
- 2021年5月 稲の種まき
- 2021年6月 田植え
- 2021年7月 除草ほか
- 2021年10月 稲刈り
- 2021年11月 「ごとうの電気」ご契約の皆様へ
新米プレゼントキャンペーン実施



新米プレゼントキャンペーン 広報チラシ

新米プレゼントキャンペーンの 五島市広報誌や自社HPなどでの 告知の様子

<成果>

- 五島市民電力として、繁敷地区の20a（アール）を本プロジェクトで担当し、荒廃農地化を防止。
- 稲の種まき、田植え、稲刈りについて、関連会社を含む希望者を募り実施。
- 各種イベントなど、本年度、本プロジェクトへの参加人数はのべ30名。
- 玄米ベースで約800kgを収穫。
- 収穫した玄米を精米し、3kgの袋詰めを行い、「ごとうの電気」ご契約者200名様にプレゼント。大変好評をいただきました。

■ 2021年5月 稲の種まき



■ 2021年6月田植え



■ 2021年 9月稲刈り、精米、袋詰め

